第70回 福島県消防大会

本宮市で盛大に開催

消防の祭典、第七十回福島県消防大会は平成二十九年六月三日（土）、本宮市「本宮市しらさわカルチャーセンター」で（公財）福島県消防協会の主催により県内の消防団職員、地域住民など約七百名が参加し、盛大に開催されました。

消防大会は、各市持ち回りで開催をしておりますが、「本宮市」は、平成十九年一月一日に旧本宮町と旧白沢村が合併して新しく「本宮市」として誕生したため、今回、合併後十年目の節目の年に初めての開催となりました。

大会は、県内の消防関係者が一堂に会し、大会の開催を契機として消防関係者の士気の高揚と団結を図り、安全確保にも意を配し、活力ある消防体制を推進するとともに、地域住民の安心・安全の確保という消防使命達成と、広く県民の防災意識の向上に資するため、毎年開催されております。

大会に先立ち、知事栄誉礼が、県消防協会役員及び県内消防関係者により執り行われました。

引き続き開催された大会は、会場全体が厳粛な雰囲気に包まれる中、先ず初めに大玉村消防団菅野善啓団長の号令で、国旗敬礼が行われました。岩渕仁一副会長の開会の辞で始まり、国歌斉唱、本県消防殉職者及び殉難者百二十七名の御霊に黙祷を捧げ、三浦良一会長の式辞の後に、福島県知事（代理　鈴木正晃副知事）の挨拶、続いて、高松義行本宮市長より開催地を代表しての歓迎挨拶がありました。

続いて、福島県消防表彰、県消防協会表彰等の各種表彰が行われ、表彰終了後、日本消防協会長、県選出国会議員、県議会議長、県警察本部長、県町村会長等からご祝辞をいただきました。

ここで、渡辺明弘本宮支部ラッパ部会長より本日ファンファーレ等演奏を行っていただいている本宮支部ラッパ隊の紹介があり、それを受け、停止間を交えた演奏が披露されました。一糸乱れぬ動きと吹奏は、目を見張るものでした。ありがとうございました。

その後、受賞者を代表して星　清夫檜枝岐村消防団長より謝辞が述べられ、各種表彰が滞りなく終了となりました。

次に、「大会宣言」を松山一八理事、「大会決議」を磯部英世理事がそれぞれ朗読し、満場一致で賛同されました。

さらに、開催地である本宮支部の國分宏明支部長から謝辞、次回開催地の岩渕仁一会津若松支部長の挨拶があり、地元である安達地方広域行政組合消防本部の原田眞作消防長の発声により万歳三唱が行われ、長澤初男副会長の閉会の辞で大会を終了いたしました。

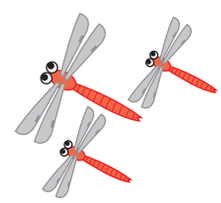
福島消防新聞

編集者
福島市中町五番二十一号
福島県消防会館内
公益財団法人　福島県消防協会
電話（福島）（522）五九七四

印刷人
福島市南矢野目字萩ノ目裏一一
村山広一
電話（福島）（553）四六〇〇

火の用心
ことばを形に　習慣に

平成二十九年度全国統一防火標語



平成二十九年度

消防殉職者等慰霊祭

～御霊よ安らかに～

第七十回福島県消防大会に先立ち、平成二十九年度福島県消防殉職者等慰霊祭は、（公財）福島県消防協会の主催により六月二日（金）午後一時三十分から、福島市荒井　福島県消防学校内「殉職消防組員之碑」前において、県内の消防団長、消防長ほか消防関係者並びに地域住民等約百四十名が参列し、厳粛に執り行われました。

はじめに岩渕仁一副会長が開式の言葉を述べ、続いて、本年は一名の御霊を新たに合祀することとなり、本県消防殉職者及び殉難者百二十七名の御霊が三浦良一会長より奉納されました。

参列者全員で黙祷を捧げた後、三浦会長が「本日、ここ福島県消防学校内『消防殉職組員之碑』前において、県内の消防団員及び消防職員の殉職者、並びに、消防協力受難者百二十七名の御霊を奉り、平成二十九年度福島県消防殉職者等慰霊祭を執り行うにあたり、謹んで哀悼の誠を奉げます。（中略）我々消防人一同は、本日の慰霊祭を契機に、安全・安心で住みよい社会の実現を目指し、精進邁進することこそ、尊霊の御遺徳に報いる道と考え、これからも、なお一層の努力を惜しまないことを御霊の前で謹んでお誓い申し上げます。（後略）」と式辞を述べました。

追悼の言葉は、内堀雅雄福島県知事（小野和彦危機管理部長代読）、秋本敏文日本消防協会長（小野和夫福祉部長代読）、杉山純一県議会議長、高松義行本宮市長（佐々木広文副市長代読）よりいただきました。

次に、参列されたご遺族全員、来賓及び関係者が献花を行い、ご冥福を祈りました。

最後に、三浦会長からご遺族はじめ参列者に対し、御礼の挨拶を述べ、長澤初男副会長の閉式の言葉で終了いたしました。

（機器協会員）
福島日野自動車株式会社
本社郡山支店　郡山市安積町笹川字峰田五ノ一　☎〇二四―九四五（代）一六六五
福島支店　福島市荒井字川原田一番地一　☎〇二四―五九三（代）〇三三三
いわき支店　いわき市小名浜島字渡地六番地一　☎〇二四六―五八（代）八一八一
白河支店　西白河郡泉崎村大字泉崎字中様工業団地三一一一　☎〇二四八―五四（代）一〇三五
会津営業所　会津若松市上荒久田字村北一二〇番地　☎〇二四二―三七（代）二三三三
相双営業所　相馬市柚木字大関七一一五　☎〇二四四―三六（代）〇三八五

あらゆるバッチ　盾・トロフィー　すべての記念品
消防関係記章のご用命は当店にどうぞ
有限会社　美光
福島市西中央三丁目二六番一五号
TEL（〇二四）（534）〇二五五
FAX（〇二四）（534）六六五七
（機器協会員）

（機器協会員）
ISUZU
いすゞ自動車東北株式会社
福島支社　福島市本内字北街道下15-1　☎024（522）1501（代）
福島支店　☎024（546）1151（代）
郡山支店　☎0248（72）2020（代）
いわき支店　☎0246（58）4081（代）
会津支店　☎0242（24）3455（代）
相双営業所　☎0244（24）3255（代）
本宮営業所　☎0243（63）2660（代）
白河営業所　☎0248（22）7125（代）

（機器協会員）
MORITA GROUP
13mブーム付　多目的消防ポンプ自動車 MVF
ALTESIMO　アルミ製蓄圧式　粉末消火器
人と地球のいのちを守る
MORITA
株式会社モリタ
モリタ宮田工業株式会社
〒983-0043　仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号
仙台支店　TEL.022-238-6461
東北営業部　TEL.022-238-4771

（機器協会員）
福島トヨタ自動車株式会社
福島市太平寺字沖高二五　☎〇二四―五四六―二〇〇〇

（機器協会員）
総合防災用品、NIKKI式消防車
トーハツ消防ポンプ、キンパイホース
NAホスポール
WADA JIDOHSYA CO.,LTD.
民間車検場
和田自動車株式会社
郡山市田村町金屋字孫右ェ門平57番地
〒963-0725　☎024（943）3400（代）
☎・FAX 024（943）3873

安全と防災
総合安全設備
総合防災設備
消防標識　防災用品
カーブミラー　反射テープ加工
道路安全用品　各種標識
各種消火器
（機器協会員）
各種作業服
TOAN トーアン株式会社
〒963-0215　郡山市待池台1丁目55-37　☎024(936)2050(代)
〒960-8163　福島市方木田字白家40-8　☎024(546)4475

消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・
消防ホース・消火器・防火衣・
火災報知設備・積載車艤装
消防設備保守点検
会津消防用品株式会社
会津若松市松町二―四一
☎会津若松(28)五一五一
（機器協会員）

第三十六回 全国消防殉職者慰霊祭執り行われる

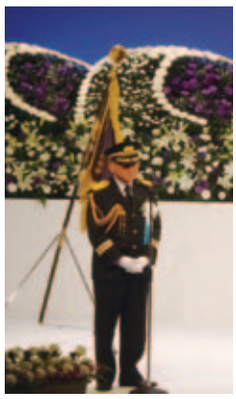
日本消防協会の主催、総務省消防庁の後援による第三十六回全国消防殉職者慰霊祭は、平成二十九年九月十四日（木）午前十時より、日本消防会館ニッショーホールにおいて、全国の殉職者の遺族をはじめ多数の消防関係者等が参列し執り行われました。

全国の殉職者は、本年度十五柱が新たに合祀され、五千七百五十一柱となりました。

日本消防協会旗入場、開式のことばに引き続き、秋本敏文日本消防協会長が御霊を奉納し、参列者全員で国歌斉唱と黙祷が行われました。続いて、秋本会長の式辞、次に、内閣総理大臣（代理　野上浩太郎内閣官房副長官）、野田聖子総務大臣、遺族代表（長野県　瀧澤千恵さん）より追悼のことばが述べられ、新合祀のご遺族、ご来賓、各県御遺族代表等による献花が行われました。また、一般社団法人江戸消防記念会による鎮魂の歌（木遣り）が捧げられ、秋本会長のあいさつ、閉式のことばで慰霊祭は閉じられました。

本県から参列されたご遺族代表は次のとおりです。（敬称略）

大戸　明雄（伊達市）
渡辺フサヨ（棚倉町）
鈴木とし子（塙　町）
丑木ケイ子（会津若松市）
山本　裕子（喜多方市）
山本　郁美（喜多方市）



（機器協会員）
株式会社 平成
本社／〒971－8122
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1
TEL　0246－58－0047㈹
FAX　0246－58－0080
代表取締役　鈴木庸平
●雄大な自然都市いわき
●躍動するネットワーク都市いわき
●のびのび快適生活都市いわき

（機器協会員）
NIKKI の消防自動車
日本機械工業株式会社
仙台営業所　仙台市青葉区1丁目10番36号
TEL　022－222－8831
FAX　022－223－6660
―― 福島県下代理店 ――
東部産業㈱自動車部　いわき市(25)4815
和田自動車㈱　郡山市(943)3400
㈲豊和防災サービス　会津若松市(27)7878

（機器協会員）
〈総合防災〉
消火器・シバウラ消防ポンプ・
消防ホース・各種消防防災用品・
火報設備・避難設備・消防設備
保守点検設備
会星産業株式会社
白河市古高山3－138
☎0248(22)5504

（機器協会員）
モリタ式消防ポンプ自動車
IHIシバウラ小型動力ポンプ
消防用設備・設計施工・保守点検
株式会社 ホシノ
会津若松市材木町一丁目十番二十二号
☎会津若松㈹五六〇〇
郡山支店

（機器協会員）
綜合消防設備
消防備品、消防設備点検、防火対象物点検
援護化学株式会社
代表取締役　滝田吉宏
本社　郡山市図景1丁目17－24
(024)932－0440㈹
営業所　会津若松市東千石1丁目2－29
(0242)27－1056
南相馬市本陣前1丁目34
(0244)23－5447

（機器協会員）
モリタ式消防ポンプ・IHIシバウラ
消防ポンプ・初田消火器・消防ホース・服装類・積載車
郡山防災センター
（株式会社ホシノ郡山支店）
郡山市久留米三丁目二十七番地
☎〇二四―九四五―八九九九(代表)

（機器協会員）
福島県知事許可
綜合防災設備設計・施工・
保守点検・消防資材一式・
他弱電工事
明和電気防災㈱
福島市上鳥渡茨沢22－3
☎(024)593－2131

（機器協会員）
トーハツ消防ポンプ　シバウラ消防ポンプ
モリタ式自動車ポンプ　消火器
ジェットホース　避難器具・保護具
消防被服　火災報知機
消防用金具　その他消防用品一式
㈱ 磐水社
本　社　いわき市平字古鍛冶町4
☎(0246)23－1616㈹
FAX(0246)23－1979
白河営業所　白河市字大鳥居橋前83－14
☎(0248)23－3600
FAX(0248)23－4134

平成二十九年度四月理事会が開催される

五月定時評議員会に先立ち、平成二十九年四月二十一日（金）に、消防会館二階会議室において、平成二十九年度最初の理事会となる四月理事会が開催されました。会議では、初めに、平成二十八年度事業報告及び決算について、次に辞任届の提出があった評議員・理事の後任の補欠候補者について審議を行い、後日開催の評議員会に候補者として推薦することに決定しました。

続いて、六月三日（土）に本宮市において開催予定の第七十回福島県消防大会に関して、名誉顧問の委嘱、役割分担及び大会宣言・大会決議について審議を行った結果、それぞれ承認がなされ、うち、大会宣言・大会決議については、後日開催の評議員会に提案することに決定しました。

さらに、来年度消防大会の開催地及び開催時期など、後日開催予定の評議員会に提案する案件などについて慎重な審議がなされ、出席理事により、それぞれ承認がなされました。

最後に、五月定時評議員会を、平成二十九年五月十一日（木）に開催することを決議し、閉会となりました。

（公財）福島県消防協会の平成二十九年五月定時評議員会が開催される

平成二十九年五月十一日（木）に、（公財）福島県消防協会の五月定時評議員会が、県消防学校二階会議室で、評議員十二名、理事七名、監事二名が出席して開催され、平成二十八年度事業報告・決算などが審議され平成二十九年度事業計画・予算などが報告されました。

会議では、先ず、平成二十八年度決算について、事務局説明に引き続き、質疑が行われ、その後、全会一致で承認がなされました。次に、評議員二十一名中八名から辞任の届出があったことを受け、理事会から推薦のあった補欠候補者八名について、各々採決を行った結果、全員異議なく賛成をもって可決されました。また、理事九名中二名から辞任の届出があったことを受け、理事会から推薦のあった補欠候補者二名についても、各々採決を行った結果、全員異議なく賛成をもって可決されました。続いて、第七十回消防大会の宣言及び決議について審議を行い、全員異議なく承認された。以上で、提出議案の審議については終了し、続いて、先の理事会で決定された平成二十八年度事業報告、平成二十九年度事業計画及び予算について、報告が行われた。

最後に、退団・退職により、本日の本評議員会をもって後進に道を譲ることになりました方々から退任のあいさつがありました。

○評議員選任（敬称等略）

五十嵐幸夫（猪苗代町消防団長）
佐藤　誠（湯川村消防団長）
阿部　孝（伊達地方消防本部消防長）
原田　眞作（安達地方広域消防本部消防長）
遠藤　和夫（須賀川地方広域消防本部消防長）
緑川　祐壽（白河地方広域消防本部消防長）
猪狩　達朗（いわき市消防本部消防長）
小谷津芳秀（相馬地方広域消防本部消防長）

○理事選任（敬称等略）

丹治　正一（福島市消防本部消防長）
青山　雅昭（郡山地方広域消防本部消防長）

平成二十九年度福島県消防協会支部事務連絡会議開催

平成二十九年六月二十二日（木）、福島市の「ふくしま中町会館」において、各支部事務担当者等約三十名の出席により福島県消防協会支部事務連絡会議が開催されました。

会議は先ず、県消防協会の平成二十九年度事業計画並びに予算を説明し、新たに創設した特定資産「消防大会事業基金」並びに特定資産「消防殉職者慰霊祭事業基金」については、詳細に説明を行いました。

次に、菅野信一消防学校副校長兼教務課長から消防学校教育訓練計画、特に消防団員基礎教育の教育内容や募集状況、また、消防団員幹部教育の内容について説明を受けました。

午後からは、初めに県市町村総合事務組合総務課三星裕介主査より公務災害補償の手続きにおける書類作成について、退職報奨金請求事務手続きにおける書類の書き方・注意点等についての説明を受けました。

続いて、協会事務局より、日本消防協会の共済事業について実務で特に疑義を生ずる点等の説明を行いました。

各議題終了後、場所を福島県庁北庁舎内にある福島県危機管理センターへ移動し、施設の視察を行いました。

危機管理センターは、平成二十八年九月二十八日に、災害発生時に迅速に災害対策本部を立ち上げ、初動対応に万全を期すための危機管理拠点として開所された施設です。

本会議は、県内各地から災害時に携わる支部事務担当者が集まる数少ない機会でしたので、研修会の一環として、危機管理課職員による災害時における施設運用の説明を受け、対策本部会議室、リエゾンオフィスなども視察でき大変有意義な会議となりました。

トーハツ消防ポンプ
モリタ式消防ポンプ車
消防ホース・消火器
ミヤス自動車消火装置
避難器具・消防被服
鉄骨火の見櫓・他消防用品一式
㈲渡辺鉄工消防用品
田村市船引町北町通47
☎（〇二四七）㈫〇〇七二
（機器協会員）

－消防設備綜合メンテナンス－
キンパイホース・消火器・避難器具
火災報知設備　スノーラッフ
その他消防用品一式
防災機器の御用命は
㈲東北防災センター
代表　夏井一樹
本社　福島市入江町5－7
☎024（534）3389・2540
（機器協会員）

（機器協会員）
消防自動車部
ニッキ消防ポンプ
キンパイホース
東部産業株式会社
シバウラ小型ポンプ
いわき市内郷綴町金谷15番地4
☎　0246(26)5401
代表取締役社長　菊池一隆

トーハツ消防ポンプ・モリタ式自動車ポンプ・ジェットホース・キンパイホース・消火器・避難器具・火災報知機・漏電警報機
福島消防資材株式会社
福島市五月町八－三七
☎〇二四－五二二－五五五五
（機器協会員）

東北地区消防連絡協議会

～青森県で開催～

平成二十九年度東北地区消防連絡協議会が、七月十三日（木）、青森県青森市「ホテル青森」において開催され、東北六県及び新潟県の各消防協会長、副会長並びに事務局長等が出席し、当面する消防に係る諸問題について研究討議が行われました。

協議会では、消防殉職者等に対し黙祷を行った後、笹　常俊青森県消防協会長の挨拶に続き、青森県知事（代理）、小野寺晃彦青森市長の来賓挨拶がありました。

前年度決議事項の処理報告では、昨年度開催の秋田県消防協会から、平成二十八年度に総務省消防庁へ要望した「退職報償金支給基準の勤務年数の三十五年以上の新設について」及び日本消防協会へ要望した「消防団員の確保対策について」の二点について、それぞれ回答等の報告がありました。

続いて、議題の審議に入り、今年度各県から提出された要望事項、協議事項、照会事項について協議がなされました。うち「消防団員の確保と活動の充実について（県税の特例条例の設置）」及び「消防団の装備充実に向けた支援の強化について」の二点も国に対して協議会名でそれぞれ要望することになりました。

また、現在日本消防協会において鋭意実施中の「消防団応援の店」については、さらに広範囲な展開を進めていくよう、日本消防協会に要望を行うこととなりました。

その後、平成三十年度の新潟県開催が全員賛成のもと、確認され藤田　隆新潟県消防協会長から挨拶がありました。

会議終了後は「自衛隊（第九師団）の概要と災害派遣活動内容」と題しまして、昨年四月に発生した熊本地震における支援・行方不明者の捜索活動、同じく八月末から九月に発生した台風十号に伴う災害派遣、釜石市林野火災での空中消火等、近年の災害派遣活動について、陸上自衛隊青森駐屯地第九師団司令部の塩塚健二氏による講演が行われ、若干の質疑応答を経て、連絡協議会は閉会となりました。

消防団員・消防職員だからこそ加入できる!!

消防個人年金

7つのポイント

毎月加入ができます！

1 最長70歳まで積立てが可能な、公的年金の補完ができる制度です。
2 予定利率（※1）1.25％（平成29年２月１日現在（将来変動することがあります。））
3 月払、半年払、月払・半年払併用払から選択でき、月払の場合、毎月10,000円（ゆうちょ銀行の口座から振替の場合は5,000円）から加入できます。さらに、加入時・加入期間中に、まとまった資金を一時払として払い込むことができます。
4 保険料は、生命保険料控除の対象になります。（※2）
5 消防団員・消防職員の退団・退職後も継続できます。
6 途中で脱退しても、積立金（脱退一時金）を受け取ることができます。
7 現在約24,000名の方が加入され、約10,000名の方が年金を受け取られております。（※3）

（※1）「予定利率」は保険料（掛金から運営事務費を除いたもの）のうち、引受保険会社の保険事務費等を控除した額に対する利率であり、払い込んだ掛金額に対する利率ではありません。
（※2）上記のお取り扱いは、平成29年２月現在の法令等にもとづいたものであり、将来的に変更されることもあります。
（※3）記載の人数は、平成28年度決算時点の実績です。

平成二十九年春の叙勲（消防関係）

平成二十九年春の叙勲の全国の受賞者は、六〇六名（旭日小授章一名、瑞宝小授章一九名、旭日双光章三名、瑞宝双光章一一〇名、瑞宝単光章四七三名）となっています。（発令二十九・四・二十九）

福島県関係では、次の方々が受章されました。

●瑞宝双光章（五名　敬称等略）

●元　喜多方市消防団　団長飯野利光
●元　西会津町消防団　団長江川新壽
●元　いわき市消防団　団長強口紀之
●元　郡山市消防団　団長鈴木英雄
●元　大熊町消防団　団長吉田稔

●瑞宝単光章（一四名　敬称等略）

●元　福島市消防団　分団長阿部茂夫
●元　北塩原村消防団　団長小椋恒男
●元　福島市消防団　分団長小野義一
●元　いわき市消防団　副団長金成一郎
●元　相馬市消防団　副団長菅野勇
●元　郡山市消防団　副団長菅野功一
●元　桑折町消防団　分団長齋藤嘉一
●元　船引町消防団　副団長三瓶金壽
●元　国見町消防団　団長鈴木耕治
●元　昭和村消防団　分団長角田藤一
●元　南会津町消防団　副団長羽染洋三
●元　郡山市消防団　副団長柳内清壽
●元　福島市消防団　副団長安田勝郎
●元　いわき市消防団　副団長渡部喜和

平成二十九年春の褒賞（消防関係）

平成二十九年春の褒賞の全国の受賞者は、一〇二名（紅綬褒章三名、黄綬褒章七名、藍綬褒章九二名）となっています。（発令二十九・四・二十九）

福島県関係では、次の方々が受章されました。

●藍綬褒章（四名　敬称等略）

●現　浪江町消防団　団長佐々木保彦
●現　桑折町消防団　団長佐藤富博
●現　塙町消防団　副団長藤田芳雄
●現　相馬市消防団　分団長門馬隆行

●黄綬褒章（一名　敬称等略）

●現　有限会社渡辺鉄工消防用品　代表取締役渡辺治

第二十八回危険業務従事者叙勲（消防関係）

第二十八回危険業務従事者叙勲の全国の受賞者は、六五二名（瑞宝双光章三五七名、瑞宝単光章一九五名）となっています。（発令二十九・四・二十九）

福島県関係では、次の方々が受章されました。

●瑞宝双光章（一〇名　敬称等略）

●元　福島市　消防監阿蘇孝吉
●元　須賀川地方広域消防組合　消防司令長荒川一
●元　伊達地方消防組合　消防監佐藤富士夫
●元　福島市　消防監佐藤良治
●元　会津若松地方広域市町村圏整備組合　消防監三瓶千惠雄
●元　双葉地方広域市町村圏組合　消防監柴繁
●元　喜多方地方広域市町村圏組合　消防監東條勝
●元　相馬地方広域市町村圏組合　消防司令長本間健一
●元　安達地方広域行政組合　消防司令長武藤正孝
●元　いわき市　消防監渡邉光男

●瑞宝単光章（三名　敬称等略）

●元　安達地方広域行政組合　消防司令岩井隆継
●元　いわき市　消防司令長髙田俊夫
●元　郡山地方広域消防組合　消防司令長横田正勝

平成二十九年度優良危険物関係事業所消防庁長官表彰

平成二十九年六月五日（月）に、平成二十九年度優良危険物関係事業所消防庁長官等表彰式が、消防庁の主催により、開催されました。

全国では、二四の事業所が受賞をしております。

福島県関係では、次の方が受章されました。

●優良危険物関係事業所消防庁長官等表彰

●東京応化工業株式会社郡山工場　工場長奥井俊樹

平成二十九年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

平成二十九年七月五日（水）に、平成二十九年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式が、消防庁の主催により、東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。

全国の受賞者は、安全功労者表彰が個人三二名、団体八団体、消防功労者表彰が消防団員七名、婦人（女性）防火クラブ員四名となっています。

福島県関係では、次の方が受章されました。

●安全功労者総務大臣表彰

●郡山地方消防防災協会　理事六角篤